



田租改正分一税施行大旨

第壹



114
A 2001
1



去年申租稅改而後之由布達案每法
券稅法規則書考差出昂以何中有
之由及右等人民一併之累涉之且數百
年來之回弊一時洗除之然之由將以
策之得失全國之浮沈之關之不容易
予勿偏之由作修改正之故之由之由
予再之由之由此後及因循之由人民安
堵之由之由自就職業之由急之由

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄

あの中、左にあり、理財之道、於テ大損害
を生し、あの中、と、深く苦心、及し、中、就、多、也、
右、向、中、に、有、る、は、其、終、又、誤、誤、を、是、
し、更、に、一、策、を、得、ゆ、身、前、誤、に、以、し、利、害
得失を計、輕し、廣く、衆、議、を、採、り、御
る、も、も、る、者、無、害、之、方、法、を、施、行、す、
事、存、在、依、り、不、致、お、添、也、所、存、在、何、也、

田租改正分一税施行ノ大旨

靈妙ノ智ヲ稟ケ天地ノ間ニ立テ造化ノ功用
ヲ裨補シ萬物ノ化育ヲ成就スル之ヲ人任
ト云フ而シテ其任ヲ有スル者相聚リ相資ケ
テ一地方ニ特立シ卓然他ニ愧ルナキ此レ國ノ
稱アル所以ナリ故ニ其國ノ盛衰榮辱單ニ
其人ノ智愚勤惰ニ関ラサルナシ其任タルヤ重
ク其責タルヤ大ナリ然ルニ人其一室ニ居テ他人ト

交際セサレハ其智一室ノ中ヲ出ル^レ能ハス他
郷ノ人ト交際セサレハ他郷ノ知識ヲ求ムル^レ
能ハス是故ニ萬國ト交際セサレハ知識ヲ世
界ニ求ムル^レ能ハス抑モ昔シ王室ノ盛ナルヤ
此時ニ當テ我國ノ富強他國ニ卓越シ以テ
高麗三韓ヲ服從セシムルニ至リ^テ中古政權ノ
武門ニ歸スルヤ浸ク古ニ及ハスト虽モ北條氏
ノ元寇ニ於ケル豊臣氏ノ朝鮮ニ於ケル共ニ

皇國ノ威武ヲ示セリ然ルニ其後通商交際
ノ道ヲ禁セシヨリ皇國ノ人民絶ヘテ外國ノ事
情ニ通セス曰株ヲ墨守シ^テ大明ノ域ニ進歩
スル^レ能ハス而シテ外國ハ之ニ及ジ太ニ通商交
際ノ道ヲ盛ニシ武ヲ競ヒ文ヲ修メ互ニ有無
ヲ交易シテ昨日ニナキ者今日ハ生シ日ニ増シ
月ニ加ハリ開明ノ進歩前日ノ意想ノ外ニ出
テ殆ト雲泥ノ隔ヲナセリ是ニ於テ近來通商

交際ノ道ヲ開ケハ則チ我ニ在ル者彼悉ク之
ヲ備ヘサルナリナリ彼ニ在ル者我之ヲ備フルニ能
ハス今其一ニテ拳ヲケンニハ近世ニ至リ彼ニ蒸気
船ノ發明アリ電信機ノ發明アリ鑛道鑛
橋其他百般ノ好機械アリ又都府村鄙ノ
別ナリク學校アラサルハナリク以テ人ノ知識ヲ開
キ貨財ヲ殖ニ其浩益ヲナス一籌フルニ勝ユ可
ラス凡ソ此等ノ類我國ニ於テ未タ之ヲ備フ

ルニ能ハス是其人民ノ知識國家ノ富強彼ニ
遜色ナキナリ能ハサル所以ニシテ實ニ皇國人
民ノ大耻ナリ苟モ此大耻ヲ雪カント欲セハ
人々己ノ知識ヲ開キ其品行ヲ宜クシテ皇國
ノ富強ト文明トヲシテ萬國ニ讓ルニナカラシ
メサル可ラス是則チ皇國人民ノ職掌ニシテ
苟モ人心アル者大憤発ヲナサル可ラサル者ナ
リ語ニ曰富強ハ民工ニ生シ民工ハ政事ニ出テ

政事ハ自主ニ立チ自主ハ知識ニ本ツクト故
ニ其國ヲ富強ニセント欲セハ人々己ノ知識ヲ
開カサル可ラス又曰國ノ品行ハ民ノ品行ニ由
ルト故ニ其ノ國ノ品行ヲ宜クセント欲セハ人々己
ノ品行ヲ宜クセサル可ラス苟モ人々ヲシテ其知
識ヲ開キ其品行ヲ宜クセシメント欲セハ勤儉ヲ
勸メ惰奢ヲ遏メテ以テ之ヲ富マスヨリ要ナ
ルハナシ然レハ則チ其策講求セサル可ラス蓋

シ我朝上古郡縣ノ制行ハルヤ一土ト虽モ
王土ニアラサルイナク全國ノ土地悉ク王室ノ所
有タリ中古封建ノ制ニ変スルヤ其土地概チ
諸侯ノ私有ニ屬セリ諸侯其版籍ヲ奉
還スルニ至テハ則チ復タ王室ノ所有ニ歸セ
リ今此古ノ郡縣現今ノ制ヲ云フニアラス封建トノ利害
ヲ論スレハ則チ郡縣ハ封建ノ長久ナルニ如カス
何トナレハ則チ郡縣ノ制タル全國ノ富ヲ一家

ニ私有ス私ノ極ナリ夫レ富ハ皆人ノ欲スル所
今之ヲ一家ニ私スレハ則チ之ヲ保護スルノ責
モ亦之ヲ一家ニ任セサルヲ得ス是レ秦ノ二世
ニシテセフル所以ナリ而シテ封建ハ則チ全國
ノ富ヲ分ツテ諸侯ト之ヲ與ニシ稍ハ公平ニ屬ス
ル者ナリ既ニ之ヲ諸侯ニ分ツ故ニ之ヲ保護ス
ルノ責モ亦諸侯ト之ヲ共ニス是レ周ノ八百年
ヲ保ツ所以ナリ然リト虽モ之ヲ諸侯ニ分ツ

ハ之ヲ民ニ分ツノ公平ナルニ如カス諸侯ト之ヲ
保護スルハ民ト之ヲ保護スルノ固キニ如カス語
ニ曰聖人ノ聖人タル所以ノ者ハ善ク民ニ分テハ
ナリ又曰民其産ヲ懷ハサルハ國之危ナリト是
故ニ治安ヲ致スノ道ハ全國ノ富ヲ全國ノ人
民ニ分チ人民ト之ヲ與ニシ人民ト之ヲ保護ス
ルヨリ善キハナシ方今西洋諸國ノ富強ヲ致
ス所以ノ者ハ皆チ此道ニ因レルナリ是レ近日

地所賣買ノ禁ヲ解キ以テ民ニ之ヲ私有ス
ルヲ許シ地券ヲ附渡シテ其ノ私有ヲ固スル
ノ舉アリシ所以ノ者ナリ是故ニ其地券ニ記
セル所ノ代價ハ乃チ人民私有ノ代價ニシテ
其代價ニ應スル所ノ利益ハ乃チ私有ノ
實利ナリ而シテ其代價ニ屬セサル所ノ
利益ハ乃チ公有ノ實利ナリ是故ニ己ニ私有
ヲ固クスルト虽モ其公有ノ實利多キヲ以テ

私有ノ實利其數甚々微ナリ是ヲ以テ未
タ人民ノ富ヲ致スニ足ラス是故ニ今般別紙
規則ニ從ヒ大ニ田租ノ法ヲ改正シ分一ノ稅
法ヲ施行シ此公有ヲ賣リ漸ク以テ之ヲ私
有トナシ一般ノ地稅ヲシテ二十五分ノ一ニ平
均セシメントス是レ則チ勤儉ヲ勸メ惰奢ヲ
遏メテ以テ之ヲ富マス所以ノ策ナリ故ニ此
策行ハルレハ則チ勤儉ナル者ハ必ス其產ヲ大

ニスルヲ得情奢ナル者ハ変シテ其産ヲ増ス
一能ハス是レ其勤儉ヲ勸メテ情奢ヲ遏ム
ル所以ナリ而シテ官其代金ヲ以テ學校ヲ
興シテ教育ノ道ヲ尽シ鑛道ヲ開キテ人民
ノ往來ヲ便ニシ電信機及ヒ其他百般ノ
好機械ヲ製シ以テ人民ノ大利浩益ヲ起
シ且ツ外國ノ借金ヲ拂ヒ華族士族ノ家
祿ヲ所置シ漸々冗費ヲ省キ冗官ヲ汰シ

二十年ノ後ニ至ツテハ一般ノ地稅二十五分
ノ一ニ平均スルト虽モ其地稅及ヒ物品稅證
印稅等諸稅ヲ併セ其額ヲ以テ諸費充分ニ弁スハ
キノ良策ヲナシ下ニハ人民勤儉ノ功ニ因テ
其公有ノ實利ヲ買ヒ以テ己ノ私有トナシ
大ニ其家産ヲ増加シ以テ其子孫ヲシテ
大家顯族トナラシメ其子孫タル者ハ父
祖ノ家産ヲ相續シ政府設クル所ノ學

校ニ出入シ以テ己ノ知識ヲ開キ其品行ヲ
宜クシテ父祖ノ遺業ヲ隨サス益々其精ヲ
加ヘテ我國ノ文明ト富強トヲシテ萬國
ニ讓ル_ルナキニ至ラシムル_ルヲ得レハ則チ皇國
人民ノ職掌於是乎尽キ當今ノ大耻
於是乎雪ツ夫レ豈ニ努カセサル可ケンヤ
是其田租ノ法ヲ改正シテ命一ノ税法ヲ施
行スル所以ノ大旨也

